

議 事 録

1. 会議の名称 池田市発達支援システム検討委員会
2. 開催日時 平成28年3月24日(木) 午前10時～12時
3. 開催場所 府市合同庁舎5階大会議室
4. 出席者
《委員》 片山委員長、小川副委員長、永井委員、
泉玉委員、村田委員、竹内委員
※平田委員、岡井委員、山田委員、乾委員、高光委員
は欠席。

＜大阪大学＞ 村田特任研究員
＜大阪府＞ (地域生活支援課) 瀬野総括主査
＜事務局職員＞
藤井子ども・健康部長、
(発達支援課) 武田課長、古家後主事、
(健康増進課) 山田課長、
(障がい福祉課) 大賀課長
5. 議 題
(1) 正副委員長の選出について
(2) 平成27年度の取り組みについて
(3) 平成28年度の取り組みについて
(4) 大阪府における発達支援に関する取り組みに
ついて
(5) 各委員からの案件について(意見交換)
(6) その他
6. 議事経過 別紙
7. 公開・非公開の別 公開
※非公開の理由
8. 傍聴者数 なし
9. 問い合わせ先 池田市 子ども・健康部 発達支援課
(072) 752-1111 内線190
(072) 754-6102 (ダイヤルイン)
E-mail h-shien@city.ikeda.osaka.jp

議 事 経 過

発言者	発言の要旨
事務局	<p>○開会（部長挨拶、出席状況など報告）</p> <p>案件（1）正副委員長の選出について 任期満了に伴い、新たに委員を委嘱させていただきました。任期は2年（30年3月16日まで）。委員会規則に則り、委員の互選によって委員長と副委員長を選出したいと思います。</p>
委員	<p>片山委員に委員長、小川委員に副委員長をお願いしたい。</p>
事務局	<p>ほかに意見はありませんか。（「異議なし」の声あり） それでは委員長、副委員長におかれましては席を移動いただき、ひとことずつご挨拶をお願いします。 （委員長、副委員長が挨拶）</p>
事務局	<p>案件（2）平成27年度の取り組みについて 27年度における各種事業に関する実績などについて説明。</p>
委員	<p>いけだつながりシート「Ikeda_s（イケダス）」の周知方法について、広報誌などはもちろんだが、医師会などとも連携して、医療機関でもPRできればと思う。</p>
委員	<p>自分の所属でイケダスをどれぐらいの方が使っているのか、確認したいと思う。</p>
事務局	<p>支援計画を立てる際の資料にもなるので、もっと活用してもらえようような取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>案件（3）平成28年度の取り組みについて 28年度予算やイケダスの電子化を検討していることなどについて説明。また、イケダスの利用状況などに関する検証として、作成時にかかわっていただいた関係機関を中心に実施したアンケート結果についても説明。</p>

委員	イケダスの電子化について、セキュリティー面が気になる。
事務局	利用者が最も懸念される部分だと思うので、十分な対応を検討しています。
委員	イケダスの活用状況は知りたかった部分。もし、上手く活用できているケースなどがあれば教えてほしい。
事務局	今後も研修などを通じて、説明する機会を設けたいと思います。
委員	電子化になれば、紙に記入するより使いやすいと思います。
事務局	電子版はもちろんですが、従来の紙媒体としてのイケダスについても、より多くの方に知ってもらい、利用いただきたいと考えています。
委員	通所支援施設の質の担保が気になります。
事務局	<p>事業所の許認可や指導などの権限をもっているのは大阪府であるため、これまでの立ち入り検査を希望したり、実際に立ち会ったりしてきました。そのような中、これまでは大阪府が府内の各療育拠点で事業所を対象にした研修を行ってきましたが、28年度は市町村単位での研修を実施することになり、意向調査があったので手を挙げたところです。本市としては、事業所の質の担保に積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>案件（４）大阪府における発達支援に関する取り組みについて</p>
事務局	大阪府が実施する「発達障がい児者総合支援事業」について説明。
委員	大阪府の取り組みを知ることができるのは良い機会。また、先ほどの事業所の研修やペアレント・トレーニング事業など、大阪府の事業に池田市が取り組んでいることも分かった。
委員	基幹相談支援センターなど、大阪府の関係機関などとのネットワークづくりも重要だと思う。

様式第 2 号

大阪府	大阪府の関係機関においても、もっと連携を進めて支援体制の整備を図らないといけない。
委員	<p>案件（5）各委員からの案件について（意見交換）</p> <p>何か役に立てればと、社会福祉士の資格を取得しました。民間でもできることがあると思うので、切れ目のない支援に寄与したい。</p>
委員	海外では市民が積極的に評価を受けたがり、うまく支援につながっていますが、日本ではまだ十分な支援がないため、レッテルを貼られるだけになってまいがち。
委員長	教育の現場や、幼児期の場合は保育所などの現場における責任が大きい。また、法だけでは縛れない入り口部分での責任も重い。
事務局	<p>案件（6）その他</p> <p>今回の開催は、27年度決算が出た後の8月下旬から9月中旬ごろに開催したいと考えています。その際はイケダスの電子化の進捗状況などについても、ご報告申し上げます。</p> <p>○閉会（委員長挨拶）</p>